

## 解答：以下を参照

- ①Microsoft 365の高度な監査を使用すると、電子メールアイテムがいつアクセスされたかを識別できます。

➡ はい      メールプロトコルとメールクライアントがメールデータにアクセスしたときに監査ログが作成されます。

- ②Microsoft 365の高度な監査は、コア監査と同じ監査ログの保持期間をサポートします。

➡ いいえ      高度な監査は、Microsoft 365 E5ライセンスなどで利用できます。E3ライセンスが割り当てられているユーザーの場合、監査ログは90日保存されます。

- ③Microsoft 365の高度な監査では、監査データにアクセスするために顧客専用の帯域幅が割り当てられます。

➡ はい      監査ログにアクセスする際、すべての組織には、最初に1分あたり 2,000件の要求のベースラインが割り当てられます。E5組織は、E5以外の組織の約2倍の帯域幅を利用できます。